

ふたつの文化を生きる

2020年
2月28日(金)
18時30分～
20時45分
(開場17時30分)

オーバルホール

大阪市北区梅田3-4-5

毎日新聞社ビルB1階

定員420名 参加無料

※要事前申込／先着順 ※手話通訳あり

[東京サテライト会場]

講演をライブ中継でご覧いただけます!

聖心女子大学4号館／聖心グローバルプラザ3階

ブリット記念ホール

東京都渋谷区広尾4-2-24

参加無料 ※申込不要／自由入場 ※手話通訳あり

ドイツの
トルコ系移民から
私たちの
これからを
考える

グローバル化が加速する現代世界において、人びとはかつてない規模で国境を越えている。移動は地球上のあらゆるところに起こっていて、ビジネスや観光で移動する人、越境労働者として移動する人、難民として故国を離れる人など移動の理由もさまざまである。移民と呼ばれるのは、国境を越えて移動する人びとのなかでも、移動した先で家族生活を営み、世代を越えてホスト社会に生活の場を築いていくようになった人びとをさす。移民はホスト社会とは異なる文化をもつために、衝突や対立をはらむこともあるし、また異なる文化の出会いが新しい文化や価値を生み出すこともある。

ヨーロッパは、移民や難民の受け入れで長い歴史をもち、文化間の軋轢を経験しつつ、「多文化主義」、「ダイバーシティ」という今日の世界で重要な価値もつくりだしてきた。本講演会では、多文化的な社会とはどういうものか、そこで移民の人びとがどのように生きているのか、ドイツのトルコ系移民に焦点をあてて描き出す。ドイツ連邦統計局(2016)によると、現在、ドイツに居住する外国人は全人口の約11%、ドイツ国籍保持者で移民の背景を持つ人を合わせると全人口の約23%に達する。そのなかで最大人口を占めるのがトルコ系で、たとえばサッカーのナショナルチームにもトルコ系移民の背景をもつ選手は少なくない。

2019年4月、改正出入国管理法が施行され、日本でもますます多くの外国人が生活するようになることが予想される。パネルディスカッションには日本の移民研究の研究者も加えて、ヨーロッパでの移民の経験を参照しながら、日本で多民族・多文化共存の社会をどのように構想することができるか、考えていきたい。

プロフィール



森 明子

国立民族学博物館・グローバル現象研究部・教授

専門は文化人類学、ヨーロッパの民族誌研究。1986年以来、オーストリア国境の村とドイツのベルリンで、社会変容のなかの家族について調査研究を行う。主な著作として、『ケアが生まれる場—他者とともに生きる社会のために』(2019年、ナカニシヤ出版)、『ヨーロッパ人類学の視座—ソシアルなるものを問直す』(2014年、世界思想社)、『土地を読みかえる家族—オーストリア・ケルンテンの歴史民族誌』(1999年、新曜社)などがある。



石川 真作

東北学院大学・経済学部共生社会経済学科・教授

専門は文化人類学、移民研究。ドイツ在住トルコ系移民についてデュースブルク市を中心に調査研究を行い、日本の外国人住民についても調査している。主な著作として、『周縁から照射するEU社会—移民・マイノリティとシティズンシップの人類学』(2012年、世界思想社)、『ドイツ在住トルコ系移民の文化と地域社会—社会的統合に関する文化人類学的研究』(2012年、立教大学出版会)などがある。



高谷 幸

大阪大学大学院・人間科学研究科・准教授

専門は社会学、移民研究。非正規移民や移住女性を中心に日本在住の移民について調査研究を行う。移民支援NGOで活動の経験をもつ。主な著作として、『移民政策とは何か』(2019年、人文書院)、『追放と抵抗のポリティクス』(2017年、ナカニシヤ出版)などがある。

プログラム

18:30-18:35	開会	島田 智 (毎日新聞社大阪本社・編集局長)
18:35-18:40	挨拶	吉田 憲司 (国立民族学博物館・館長)
18:40-19:15	講演1	森 明子 (国立民族学博物館・グローバル現象研究部・教授) 「あるトルコ系ドイツ人の肖像—国境を越える家族の父として」
19:15-19:45	講演2	石川 真作 (東北学院大学・経済学部共生社会経済学科・教授) 「移民とともに変わる地域社会—デュースブルク市のモスク建設より」
20:00-20:45	パネルディスカッション	
	コメント:	高谷 幸 (大阪大学大学院・人間科学研究科・准教授)
	司 会:	相島 葉月 (国立民族学博物館・グローバル現象研究部・准教授)

申込フォームの場合

国立民族学博物館

国立民族学博物館のホームページ内にある申込フォーム画面に従って必要事項をご入力ください。

<http://www.minpaku.ac.jp/>



講演会場



・JR大阪駅(桜橋口)から地下道にて徒歩約8分 ※車でのご来場はご遠慮ください
・阪神梅田駅・地下鉄西梅田駅から徒歩約8分

サテライト会場の
地図はコチラ



往復はがきの場合

往信の宛名面

返信の文面

返信の宛名面

往信の文面

〒565-8511
研究協力課
国立民族学博物館
吹田市千里万博公園10番1号

住所氏名
①郵便番号
②住所(返信用宛名面にも)
③年齢(任意)
④電話番号
⑤参加者氏名・ふりがな(本人を含め5名まで)
⑥2月28日公開講演会

往信面に下記①から⑥と返信面に申込者の住所・氏名をご記入のうえご応募ください。 ※申込締切日 2月21日(金) 往復はがき: 消印有効
①郵便番号 ②住所(返信用宛名面にも) ③年齢(任意) ④電話番号 ⑤参加者氏名・ふりがな(本人を含め5名まで) ⑥2月28日公開講演会
【宛先】〒565-8511 吹田市千里万博公園10番1号 国立民族学博物館 研究協力課 ※参加申込された方の個人情報本講演会のみで使用いたします。

◆お問い合わせ先: 国立民族学博物館 研究協力課 TEL: 06-6878-8209 FAX: 06-6878-8479 E-Mail: koenkai@minpaku.ac.jp